

# 環境経営登録事業所訪問記 vol.4

## 特定医療法人共助会 三州脇田丘病院



〈主な業務内容〉  
精神科・内科・心療内科  
〈鹿児島市環境管理事業所〉  
登録日  
2010年2月



(看護師部長の小門様、事務長の藤田様、環境担当の杉山様)

今回お邪魔したのは、鹿児島市宇宿7丁目ある特定医療法人共助会三州脇田丘病院です。

特定医療法人共助会三州脇田丘病院は、鹿児島市で環境管理事業所に認定されている唯一の病院です。平成24年度の優良事業所として表彰を受け、事例発表をされました。

環境への思いや取組み等についてお聞きしました。

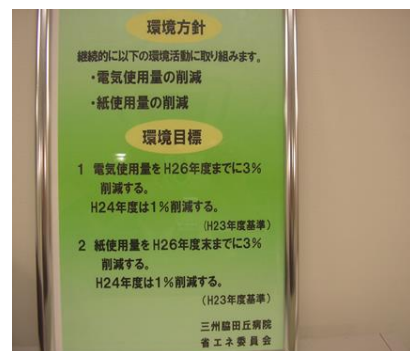
### きっかけ

もともと環境に関心があり、平成20年12月に省エネ委員会を設立し、活動する中で鹿児島市の広報紙「市民の広場」に記載されていた環境管理事業所を見つけ、興味を持ち導入を検討されました。

当初は、何もかもが初めてという事で書類関係について市役所に何度も足を運び大変だったそうです。

その後の活動で、北極のシロクマが地球温暖化により絶滅の危機にあることや東日本大震災もあり、「環境問題は、病院のことだけではなく地球全体のことだ」との思いが、さらに強まったとのこと。

今では、環境意識の高い職員が色々な環境改善を工夫し、模範となる環境管理事業所となっています。鹿児島県内に、こういった病院がもっと増えて欲しいと感じました。



環境方針・目標の掲示

## 取組みの工夫

病院は患者様に安心・安全な医療を提供するサービス業なので、「サービス」と「環境」のかねあいが大事であり、患者様にも環境問題を皆で考えていこうと理解・協力をお願いし、患者様の快適さを保ちつつ、環境の取組みを一緒に推進されていました。

窓は採光量が多く、熱を抑制できる縦長の広い断熱ガラスであり、照明は消費電力が少なく明るいLEDを設置、トイレは少ない水でも流せる便器に替え、手洗いもセンサー式となっている等、様々な場面で工夫がされています。そして、毎月1回、医者含め巡回パトロールして、温度設定値や消灯等を確認されています。

また、緑のカーテンとして「ひょうたん」を植えることが、省エネだけではなく、患者様の楽しみになっているとのことでした。

エコキャップの収集活動をしており、病院内だけではなく患者様も家から持って来られるそうです。集まったキャップはワクチンとなり、最近では28kgのエコキャップが7人分のポリオワクチンになったそうです。



センサー付き手洗い



エコ・温度設定・節電表示



ひょうたんの苗

## 今後の取組み

建て替え中の病棟は本年11月に完成するので、その時点で環境の仕組みを全て見直したいとのこと。また今後、病院として急性期の患者様を集中的に診ていきながら、発達障がい児への支援、長期入院患者様の社会復帰を支援するプログラムを強化していくとのことでした。

発達障がい児を診る病院は人材も時間も必要となるため、県内では数が少ないのですが、院長の「少しでも力になりたい」という思いでスタートされるそうです。

また女性に働きやすい職場で、「かごしま子育て応援企業」の認可を受けており、年休・産休・育児休暇取得率は100%とのことでした。明るく働きやすい職場だからこそ、福祉・環境にも積極的に取組むことができるのだと実感しました。

貴重な時間に、取材へご協力をして頂き、誠にありがとうございました。